

授業科目名	修士論文研究 (Research work for master's thesis)						
講義番号		単位数		学期	通 年	曜日・時限	
区分 (必, 選, 選必)	必 修	対象学生	1 年, 2 年				
担当教員名	化学バイオ工学専攻教職員				所属等		
研究室							
分担教員名							
キーワード	問題分析、課題設定、課題解決、仮説設定、仮説検証、文献調査、論文作成						
授業目標	工学技術者として、以下の能力を習得する。 1. 技術的問題を分析する能力を習得する。 2. 技術的課題を設定および解決する能力を習得する。 3. 文献調査能力を習得する。 4. 仮説の設定と検証などを行う能力を習得する。 5. 科学論文の書き方を習得する。						
学習内容	修士(工学)の称号にふさわしい、技術者としての研究能力を習得する。個々の研究テーマと経時的目標を設定し、年間に2回、その達成度を自己評価する。また、中間発表会および修士論文発表会において、その達成度を確認する。さらに、修士論文を作成することによって、科学論文を執筆することを学ぶ。なお、本授業は、JABEE においては、32 単位相当の授業として扱われる。						
授業計画	修士 1 年 4 月 修士論文のテーマ設定・目標設定 修士 1 年 7 月 自己達成度評価書を提出 修士 1 年 12 月 自己達成度評価書を提出 修士 2 年 5 月 中間発表会 修士 2 年 7 月 自己達成度評価書を提出 修士 2 年 12 月 自己達成度評価書を提出 修士 2 年 2 月 修士論文発表会 自己達成度評価書を提出 修士論文に関する研究成果を学外の学会または研究会にて発表者として発表すること						
授業要件	なし						
テキスト	なし						
参考書							
予習・復習について	研究室での時間を有効に実験に使用するために、文献調査やデータ整理等は自宅にて行うことが望ましい。						
成績評価の方法・基準	テーマ・目標設定書、計5回の自己達成度評価書、中間発表会および修士論文発表会の内容を総合して評価する。提出すべき書類は全て提出しなければ、評価の対象とならない。また、修士論文に関する研究成果を学外の学会または研究会にて発表者として発表することを評価対象となる必要条件とする。						
オフィスアワー	各指導教員に確認すること						
担当教員からのメッセージ							
関連科目	化学バイオ工学専攻の他の全ての科目						
JABEE との関連	学習・教育達成目標のA～I全ての項目に関連する。						
アンケート	実施しない						

